

TU

Teikyo university
Utsunomiya campus.

No.9

帝京大学 宇都宮キャンパス

TU No.9

発行月 2015年5月 発行 帝京大学宇都宮キャンパス 〒320-8551 栃木県宇都宮市豊郷台1-1 TEL. 028-627-7111 (代) FAX. 028-627-7184 E-mail. somu@riko.teikyo-u.ac.jp
URL: <http://www.riko.teikyo-u.ac.jp/> ご意見・ご要望をお待ちしております。郵送またはFAX、E-mailにてお寄せください。©帝京大学 2015 禁無断転載



帝京大学
オリジナルグッズを
もれなく
プレゼント!

オープン キャンパス

キャンパスライフ体験
7/19 (日)
8/2 (日)
入試対策
8/23 (日)

女子向けスペシャル企画
in 宇都宮キャンパス (3日間開催)
「男子ばかりのイメージがあって、なんか不安…」
そんなあなたの心配に、宇都宮キャンパスの
女子学生たちがホッペでお答えします!
お気軽にどうぞ☆

3日間共通 志望理由書指導等でAO入試対策!
研究室を一挙公開!
保護者向けガイダンスも同時開催!

**7.19
8.2** 模擬講義や体験型イベントが充実!

8.23 「英語」「国語」「数学」「物理」「生物」の
5科目の過去問分析講座を開催!
イベント内容は変更になる場合がありますのでご了承下さい。

3日間とも10:00~15:00
(受付14:30まで) 予約不要 入退場自由

8/2 (日) に宇都宮キャンパスで「WRO Japan 北関東」を同時開催!!
WRO (World Robot Olympiad) Japan 北関東とは、中高校生を対象とした全国のロボットコンテストの公認予選会。レゴ・マインドストームを用いた自律型ロボットが、いかに正確に速くゴールできるかを競います。中・高生部門のエキスポパート競技を実施し、優秀な成績を収めたチームは、東京で行われる全国大会に、さらに優秀な成績を収めたチームは、カタールで行われる世界大会に参加できます。

It's Wonderful not to know!

知らないって、すばらしい!
特集: バイオサイエンス学科

帝京大学

50th
TEIKYO UNIVERSITY
歴史をしのぐ未来へ

宇都宮キャンパス

- 経済学部 ■ 地域経済学科
- 理工学部 ■ 機械・精密システム工学科
■ 航空宇宙工学科
■ 情報電子工学科
■ バイオサイエンス学科
■ 情報科学科 (通信教育課程)
- 医療技術学部 ■ 柔道整復学科

【お問い合わせ先】 〒320-8551 栃木県宇都宮市豊郷台1-1 TEL.028-627-7123 <http://www.riko.teikyo-u.ac.jp/>

帝京大学 建学の精神 努力をすべての基とし偏見を排し 幅広い知識を身につけ 国際的視野に立って判断ができ 実学を通して創造力および人間味豊かな 専門性ある人材の養成を目的とする

教育理念 「自分流」とは、生き方の哲学そのもので、自分のなすべきこと、興味あることを見つけだし、自分の生まれ持った個性を最大限生かすべく知識や技術を習得し、それを自分の力として行動する。そしてその結果については自分自身が責任をもつことである。本学はこの自分流の生き方を学生に身につけてもらうべく、サポートしている。

ここは、新しい発見が 生まれる場所。

学問って、「もう完成しているもの」というイメージはありませんか？
でも実は、まだまだ分かっていないことばかり。
特にバイオサイエンスの分野では、人々の健康や環境などに直結するところ、
まだ誰にも研究されていないことがたくさんあるんです。
ここ帝京大学のバイオサイエンス学科でも、新しい発見を求めて、
先生と学生たちが日々研究に励んでいます。
そんな様子を、少しでも紹介します！

TU No.9
INDEX

- 01 バイオサイエンス学科特集
- 03 ①古賀研究室
- 05 ②朝比奈研究室
- 07 卒業研究発表会に潜入!
- 09 魅力あふれる先生がいます
- 11 TU Voice
- 13 宇都宮キャンパスNEWS



研究室って、なあに？

バイオサイエンス学科では、3年生までは授業や実験を通して基礎や理論を学び、
4年生になると、学生たちが自ら選択した研究室に所属し、「卒業研究」がスタートします。

2014年度のバイオサイエンス学科の研究室は、全部で14。

そのうち2つの研究室に、おじゃましてみました！

1

古賀研究室

2

朝比奈研究室

きのこから「セラミド」を取り出そう!

美肌やがん予防に効果があるとされている「セラミド」。しかしその本質的な機能は、いまだ解明されていません。私たちに多くの恩恵をもたらしてくれるセラミドの謎に、古賀研究室が挑んでいます。



きのこって... しいたけ?

「キノコ」の魔法の物質

美容に関心の高い女性の皆さんなら、「セラミド」という成分名を一度は聞いたことがあるのではないだろうか。コラーゲンやヒアルロン酸に並ぶお肌の保湿成分として知られ、化粧水や乳液によく使われている物質です。がん細胞を監視する「シグナル分子」とも呼ばれ、がん予防に効果がある良いことづくめの物質として知られています。しかし、そのメカニズムはいまだ詳しく解明されていません。セラミドの本質的な機能を解き明かし、医療・美容の分野に貢献していくことを目的に、古賀研究室は出発しました。

セラミドの効率的な製造法の確立に挑む!

人間の身体に良い影響をもたらすと考えられているセラミドが、化粧品以外の分野で普及していないのには理由があります。それは、抽出効率の悪さです。本来、私たちの生活に身近な健康食品などに含まれていてもおかしくはないセラミド。しかし、天然由来の食材に含まれる量はごくわずかで、抽出コストの面から化粧品以外の分野では使用しづらいという現状があります。



グルコシルセラミドが、じっくり沈殿しているかをチェック!

研究のために十分な量のセラミドを必要としていた古賀研究室は、グルコシルセラミドという物質に着目しました。セラミドに「グルコース」という物質が結びついたもので、摂取すると、お肌の保湿やがんの予防に効果があると言われています。グルコシルセラミドは「コメヤ」「ニヤフ、テンサイ」などの食材にも多く含まれており、自然界においてセラミドより多量に存在しているため、健康食品などに多く使われていますが、グルコースが遊離しないと作用しない、腸内での吸収率が悪い、というデメリットも挙げられます。そこで2014年度の古賀研究室では、グルコシルセラミドからセラミドを効率良く生成させる方法の確立に挑むことになりました。

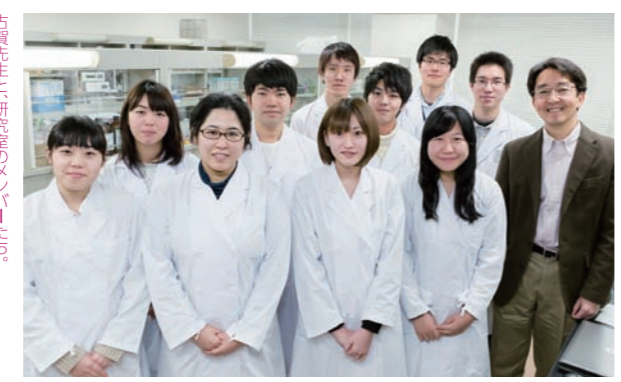
セラミド研究が実現する未来の姿

「もし、セラミドの本質的な機能を解明し、効率よく製造できる方法を確立できれば、セラミドが皆さんの生活に身近な存在になるでしょう。そうなれば将来、がんで苦しむ人の数を大幅に減らせるかもしれません。卒研生はみんな、そんな未来が現実になる日を信じ、期待に胸をふくらませながら研究に励んでいます。」

実は古賀先生は帝京大学に赴任する前、食品メーカーの研究職に就かれていました。前職での経験からも、研究にはチームワークが欠かせないと言います。

「研究で成果を挙げるためには、実にたくさんの方の協力を必要とします。目的達成までの道筋を立てるのも、細かいデータを取っていくのも一人や二人の力では到底かないません。ましてや研究には失敗もつきものです。時間を要する研究の過程でぶつかる、いくつもの壁を乗り越えていくためには、メンバー一人ひとりが高い目的意識を持ちながらも、お互いを助け合う姿勢が

仲間と同じ目標を目指した日々が人生の財産になるように



古賀先生と研究室のメンバーたち。

何よりも大切なです。」

セラミドが持つ可能性と、明るい未来を信じて突き進む古賀研究室のメンバー。彼らはいま、セラミド研究を通して研究者としての礎を築いている真っ只中です!

研究発表間近の古賀研究室におじゃましました!

このシイタケの粉から、効率良く「グルコシルセラミド」を抽出・精製し、「セラミド」に変換する方法を探ります!



これが「高速液体クロマトグラフィー」。これを使って、グルコシルセラミドを精製します。



精製したグルコシルセラミドを分析している様子。どんな結果が出るかな...?



分析したら終わりではありません! データをもとに、皆でディスカッション。この「解析」が、実は一番重要です。



いい結果を導き出せて、一安心!



思うような実験結果がなかなか得られず、解釈に苦戦することもありましたが、その分、新しい「セラミド」があった時のワクワク感は格別です!

古賀研究室ってどんな雰囲気?

イベントが盛りだくさん!

研究はチームワークが大切! 古賀研究室では、パスデーパーティーや季節ごとのイベントを通して、研究生同士の絆を深めています。ここで出会った仲間たちとの思い出は、きっと何年経っても忘れることはないでしょう!

ハロウィンパーティーと研究室対抗ソフトボール大会の様子。どちらも学生が自分たちで企画し、盛りあげました!

就職活動の相談は古賀先生に!

一般企業に勤めていた経験のある古賀先生は、バイオサイエンス学科の就職指導員も兼任しています。進路相談から面接のコツやビジネスマナーまで、学生一人ひとりの個性や思いを大切にしながら、適切なアドバイスをさせていただきます。自分の将来に悩んだら、古賀先生に相談してみましょ!

植物の傷が どう治るのか 調べよう！

脳や血管を持たない植物にも、動物と同じように体についた傷を治す力が備わっています。しかし、その詳しいメカニズムは分からないことばかり。そんな植物の傷の謎を解き明かすことを期待されているのが、朝比奈研究室です。



不思議がいっぱいの 植物の傷が治るメカニズム

数日前にケガをした指先を見つめて、どうして傷が元通りに治っていくのかと思ったことはありませんか。実は植物にも傷を元通りに治そうとする機能が備わっています。しかも運動器や脳を持たない植物特有のメカニズムで。

例えば農業分野で利用されてきた「接ぎ木」の技術。異なる二つの種の植物に傷をつけ、切断面を接着させておくことで切断箇所が結合し、それぞれの特性を備えた二つの個体に変化させる技術です。古くから農業に利用されてきた技術ですが、二つの傷が結合していくメカニズムはいまだ多くの謎が残されています。

植物の傷が修復されていくメカニズムを遺伝子レベルで解明し、農業の発展に貢献していく。そんな大きなテーマを掲げ、朝比奈先生率いる研究室歴代メンバーは研究に取り組んできました。



分析結果について考察している様子。注目するポイントが人によって違いますが、研究のおもしろいところですね。

歴代研究生の努力から生まれる 新発見！

この研究は、実験材料として選定したトマトやシロイヌナズナの茎に傷をつけ、変化の過程を記録するといった「見ると地道な作業が土台となります。

傷をつけたとき、最初に反応が起こる箇所はどこか。傷がついたという情報はどこまで伝わるか。傷の修復がどのような過程を経て、どれだけの時間を費やしてなされていくか。二つの個体につき、二週間程度の時間をかけながらデータを採取。歴代のメンバーの熱い情熱によって、緻密で正確なデータが少しずつ蓄積されていきました。

2011年、朝比奈研究室は、歴史的な成果を挙げるようになります。遺伝子の発現

量を調べる装置を用いて植物の傷を分析したところ、ある遺伝子が切断部分の細胞分裂を促進させていることを発見。傷の修復のために働く遺伝子の存在を明らかにしたのです。

2014年、この発見をさらに発展させるべく、世界最先端の装置を導入。それがLMD(レーザー・マイクロ・ダイセクション)です。

世界初の発見に「キズキワッソウ」

LMDの導入によって、狙った細胞をピンポイントで回収することが可能に。その結果、傷の直近の数細胞に限定して発現するタイプの遺伝子や、広い範囲まで発現しているタイプの遺伝子など、いろいろな発現

パターンが見えるようになりました。

「LMDを用いた研究方法はまだ確立したばかりなので、私たちの発見のつひとつが世界初になり得る可能性を秘めています。研究者として『世界初』ほど、ワクワクする響きはありませんね。学生たちも思いは同じです」と、朝比奈先生は次の発見に期待を寄せています。

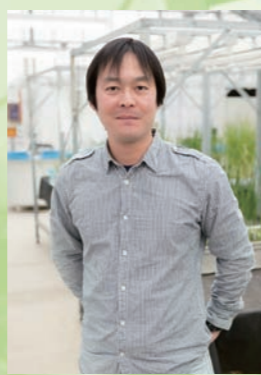
湧き上がる好奇心を 大切に育てよう！

朝比奈先生が植物ホルモンに興味を持ったのは学生時代。今も恩師として慕っている先生から「世界中の誰も成し遂げていない、植物の傷の謎を解明してみたらどうか」と言われたことがすべての始まりだったそ

うです。それから朝比奈先生は、20年近くわたり植物の傷が修復していくメカニズムの解明に挑み続けてきました。

「学生を見ているとよく思うのですが、勉強は『やらされている』と感じているままでは、大きな成果を挙げられないですね。ところが『やりたい』になった瞬間、面白くても知らないものに変わります。二つのことを知ると、次のことがまた知りたくなる。科学だけではなく、語学や哲学まで、興味の範囲は自然と広がっていきます。きっとそういう興味連鎖が新しいアイデアや発見を生み出す原動力になるでしょうね。」

好奇心旺盛なメンバーが集う朝比奈研究室から、世界初の発見が飛び出す日はそう遠くないかもしれません！



朝比奈先生

朝比奈研究室の卒業研究

3つのテーマ



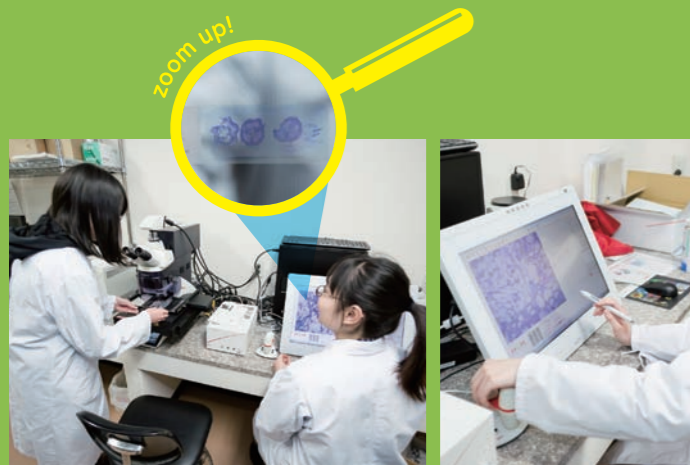
トマト班・・・

「ジベレリン」という植物ホルモンについて調べるために、接ぎ木実験を行ったり、遺伝子を組み換えたトマトを作ったりして、影響を調べます。



シロイヌナズナ班・・・

シロイヌナズナという植物を使って、傷の治り方を様々な視点から調べます。



LMD班・・・

世界的にも最先端の装置を使って、細胞レベルでの遺伝子の変化を追っていきます。

とにかくサンプルを
たくさん集めることが
必要だったので、
それに苦労しました。



大学生活の
集大成!!

卒業研究発表会に潜入

4年生が大学生活の集大成として、配属先の研究室で約1年間をかけて行う「卒業研究」。その研究の成果を発表しあう「卒業研究発表会」が、2月9日・10日に行われました。4年生だけではなく、1〜3年生も多く参加し、先輩たちの発表を見学します。緊張感あふれる発表会の様子や、発表内容の一部をご紹介します!



質問にタジタジ...



質疑応答の様子



**人工血管の動的生体適合性評価
～圧力負荷初期における疲労限度～**

人工血管が体内で劣化しないような血圧条件を調べるため、様々な拍動圧で体外実験を行いました。その結果、健康な人の正常血圧条件下でも、人工血管の劣化は少しずつ進むことがわかりました。



って...
どういこと?



**土壌微生物から
新規抗菌物質の探索**

薬の種となる物質を見つける研究。土の中に生息している微生物(カビやバクテリア)を探り出し、様々な病気の原因となっている病原性細菌に対して効果のある成分(物質)を見つけ、人に役立つ薬を創製します。



って...
どういこと?



チーム一丸となって発表

**発達障害脳における
ケモカイン^(※)の脳内発現解析**

※免疫機能に重要なタンパク質

自閉スペクトラム症(ASD)のモデルマウスの脳組織を用いて、どのような分子がASDの症状を引き起こすのかを調べた研究。その結果、ケモカインという分子が重要であることがわかりました。



って...
どういこと?



スーツでピシッとキメました!



1〜3年生も多く出席



**ヒストン転写因子Ams2と
相互作用する因子の同定**

親の遺伝子の格納庫である「染色体」が、正しく子に伝わるしくみを調べる研究。そのしくみがうまく働かないと、癌化につながります。

って...
どういこと?



って...
どういこと?

**イメージング質量分析法によるウズラ卵黄中の
ホスファチジルイノシトールの可視化条件の検討**

ウズラの卵黄の中で、リン脂質の一種である「ホスファチジルイノシトール」がどこにあるかを明らかにするために、最先端の分析技術でその物質を可視化するための方法を調べました。



次の発表にドキドキ

**微細藻類ユーグレナに存在する
ジャスモン酸の定量と機能解析**

バイオ燃料への応用が期待されている単細胞性藻類「ユーグレナ」。多くの謎につつまれているこの生物の生理特性を解明するため、植物ホルモンの一種であるジャスモン酸の働きを明らかにする研究成果を発表しました。

って...
どういこと?



大講義室にびっしり!



**超臨界二酸化炭素を用いた
栃の実の脱灰汁処理**

古くから非常食として知られ、今では餅などの原料として用いられている栃の実は、苦味や渋みが強く、脱灰するまでに伝承的処理法では約半月を要します。新規脱灰法を開発するために超臨界二酸化炭素を用い、完全ではないものの、5時間で脱灰できる方法をほぼ確立できました。

って...
どういこと?



休憩時間にほっと一息

卒業研究カレンダー

4〜6月 研究室に配属になり、いよいよ卒業研究がスタート!まずは先輩たちが代々積み重ねてきてくれた研究内容をしっかりと理解することから始まります。

7〜8月 就職活動や教育実習も一段落する頃。研究室の雰囲気や器具の使い方にも慣れてきて、実験データの本格的な収集が始まります。

9月 いよいよ後期。残すはあと半年です。実験の結果も徐々に始まる頃で、研究室ごとに中間報告会などが開催されます。先生や大学院生、同級生からの鋭い質問にタジタジになってしまうことも...

10月 研究室によっては、研究テーマに関連する学会に勉強に行ったり、時には研究内容の発表を行うケースもあります。

11〜12月 卒業論文と発表に向けて、実験も佳境に。わかりやすいプレゼンを目指し、練習も始まります。

1月 発表会まであと1ヶ月!実験結果のまとめやプレゼンの予行練習も大詰め。

2月 いよいよ発表会!1年間の集大成を披露します。その後、発表会で受けた指摘やアドバイスをもちに、論文に仕上げます。

高山優子先生



学生たちに聞きました!

先生ってどんな人?

先生の歩くスピードが速くて、走って追いかけたことが何度もあります(笑)。

悩みを聞いてくれたり、皆を元気にしてくれたりするパワフルで明るい方です。

Q1. DNAに関する研究です。現在は、「分裂酵母」を使って、細胞分裂の際にDNAを染色体へかたち作るために重要な役割を果たしている「ヒストン」というタンパク質のメカニズムについて研究を進めています。

Q2. 小さい頃に凶鑑で青い眼になるための系統が書かれていたのを目にしたんです。そしたら私は、どうやら青い眼にはなれないことにショックを受けて(笑)。それから、漠然と「遺伝」に興味を持つようになりました。人体凶鑑を見るのも楽しかったですね。本格的に目覚めたのは、大学で魚をテーマとした研究室に入り、実験や研究のおもしろさを知ってからだと思います。

Q3. 部活でテニスに打ち込んでいました! 授業ではやはり生物が好きでした。

Q4. 小説を読むのが好きです。読み始めると一気に読んでしまうので、時間の余裕を考えて今はちょっとガマン中です。でも一番気になるのは、やはり「染色体」かな。染色体の話をしたら、ごはん3杯はいけます!

Q5. 世界には、まだまだ判明されていないことはたくさんあります。それを自分たちの手でひとつずつ解明していくおもしろさに気づいたら、きっと研究はやめられなくなりますよ!



今年3月に卒業した研究室の学生たちから、手づくりのアルバムをいただきました。私の宝物です。

バイオサイエンス学科には 魅力あふれる先生がいます

4年生になり研究室に配属されると、先生たちとの関わりはより密なものになります。

バイオサイエンス学科の先生は研究内容も、これまでの経歴も、お人柄もバラエティ豊かで個性あふれる素敵な先生方ばかり。今回は、3名の女性の先生方をご紹介します。

Q1. 研究内容を教えてください Q2. 今の研究に至った経緯を教えてください Q3. どんな高校生でしたか?
Q4. 最近興味のあることは? Q5. 学生たちにひとこと!

平澤孝枝先生



学生たちに聞きました!

先生ってどんな人?

とにかく想像力が豊かなんです! 先生の体験談が個性的で、とてもおもしろいです。

じっくり先生とお話したいので、急須と茶葉を研究室においてください(笑)。

Q1. 幼い頃的环境やストレスが、成長後の脳機能にどのような影響を与えるのか。また、脳と遺伝子の関係について研究しています。いずれも、マウスを用いた神経機能についての研究です。

Q2. 大学では動物行動学のラボに所属し、鳥の鳴き声の変化について研究。行動と神経の関係性に興味を持つようになりました。その後、国立の研究所や大学の医学部などで神経科学研究を進め、その過程で出会ったいろいろな先生方にチャンスをしていただきながら、今の研究テーマに至りました。

Q3. 出身が雪国なので、冬になるとみんな電車で通学するなか、私は友達と張り合いながら、いつまでも自転車通学を続けました(笑)。受験の時は図書館に通って受験勉強。終わった後に食べるシュークリームがとても楽しみだったのが当時の思い出です。

Q4. 息子と虫やザリガニなどを捕まえていくのが楽しいです。実は今、学科の先生方と近くの山にカブトムシを獲りにいこうという計画もあるんですよ(笑)。

Q5. 学生たちの食生活が気になります! カップラーメンや菓子パンばかりじゃなく、野菜もちゃんと食べてくださいね。彩りも気にするとバランスよく摂取できます。でもやっぱり朝食が大切!



学生たちには、教科書の中で完結させないで、「自分の目で見る」ということの大切さを教えたいと思っています。

篠村知子先生



学生たちに聞きました!

先生ってどんな人?

先生の授業がとてもおもしろく、惹かれたのでこの研究室を選びました。

私が大学院に合格した時に、私以上に喜んでくれました!

Q1. 現在、バイオ燃料の原料としてのポテンシャルの高さが注目されている“微細藻類”。その増殖のメカニズムを研究しています。キャンパスの近くに、偶然にも藻類の生息にとっても適した池があったんです。バイオ燃料に適した藻類も多く生息していることがわかり、その性質を詳しく調べ始めたところです。

Q2. 大学時代は微細藻類を研究していました。電機メーカーの研究職に就き、一旦は離れたましたが、あるプロジェクトで再び微生物や藻類に向かい合うようになって。まさに運命を感じました。

Q3. 生物部に入っていました。顧問の先生が神社の森など、生物学的に観察ができるスポットに生徒をよく連れて行ってくれたんです。そこで、自然の生命力の素晴らしさを目の当たりにする体験がたくさんあり、大学で生物学を学ぼう!と思うようになりました。

Q4. 野生の植物や動物を見るのが好きで、休みの日はよくハイキングやトレッキングに行きます。いつかアフリカのバオバブの木や南極のペンギンも見に行きたいですね。

Q5. 研究を続けていくと、必ず感動的な瞬間に出会うことができます。ぜひ一緒にワクワクを共有しましょう!



歴代の卒業論文。研究は代々受け継がれ、長い時間をかけて、みんなで積みあげていきます。



医療技術学部 柔道整復学科 3年
千葉 拓弥さん(矢板中央高校(栃木県)出身)

A1: 高校生の時にサッカーでケガをして、接骨院に通ったことがキッカケです。治療が終わった後も、練習に復帰できるまでじっくり関わってもらったことが印象的で、自分もこんな柔道整復師になりたいと思うようになりました。
A2: 筋肉のしくみに奥深さを感じています。知れば知るほど気になることが多くなりますね。
A3: 学んでいることを活かし、小学生のサッカーの指導員を始めようと思っています!
A4: 休みを利用して、いろんな接骨院やスポーツ施設を見学し、どんな場所で働きたいかじっくり考えたいと思っています。



理工学部 ヒューマン情報システム学科 2年
小口 雄生さん(作新学院高校(栃木県)出身)

A1: 中学校の担任にとっても世話になり、自分も教師になりたいと思っていました。教員免許が取れるし、将来のためにパソコンについて学んでおきたいと思い、ここを選びました。
A2: とは言え、パソコンの知識が全くない状態だったので、一から勉強している感じです。試行錯誤しながらも、プログラミングが思うようにできた時は、かなり嬉しいです!
A3: ロックバンドのライブに行くのが好きです。趣味が高じて、野外フェスの運営やイベント設営のアルバイトもしています。
A4: とにかく、教師になるために頑張ります!



経済学部 地域経済学科 3年
粟野 倫世さん(栃木県立大田原女子高校出身)

A1: 親が地元の商店街活性化の活動に参加していて、私も“地域活性事業”に興味を湧き、勉強してみたい!と考えていました。
A2: 日本各地で実際に行われている街づくりの事例を学ぶ授業が面白いです。
A3: 大学生向けの栃木県の観光ツアーの企画・運営を行うインカレ(※)に所属しています。街の魅力を改めて探ったり、民間企業と協力したりと、学科での授業と直結した活動なので、とても勉強になっています!
A4: 学生のうちにもっともっというんな経験をして、自分の幅を広げたいと思っています☆

※様々な大学に通う学生たちで構成されたサークル。



理工学部 機械・精密システム工学科 4年
横塚 陽彦さん(栃木県立茂木高校出身)

A1: 高校の教師になりたいと、地元で数学の教員免許が取れる大学を探していました。CADにも興味があったので、ぴったりです!
A2: 実験が多いです。最近、数種類の金属を引っ張り、延びた形状や長さを調べる実験をしました。切れるまで引っ張るのですが、その時の音の大きさにビックリでした(笑)。
A3: サッカーサークルに入っています。他の学科の学生も多く、日焼けで真っ黒になりながら、和気あいあいと楽しめます。
A4: 何より、教員採用試験に合格すること!生徒にとって親しみやすい先生になりたいです。



経済学部 地域経済学科 2年
岡村 倫孝さん(栃木県立宇都宮商業高校出身)

A1: もっと地元のことを知りたい!と思い、ここを選びました。オープンキャンパスで先輩たちにハキハキ対応してもらって、こんな学生になりたいな!という気持ちも大きかったです。
A2: 今は「経済学」の勉強に力を入れています。まだまだこれからですが…。
A3: 「自然の中でこどもたちと遊ぼう!」という他大学のサークルに所属しています。実は僕自身、小学生の頃からこども側として参加していたので、運営側は新鮮です!
A4: マイペースなので、まず計画的にテスト勉強ができるようになります(笑)。



理工学部 航空宇宙工学科 4年
坂本 蘭里さん(近畿大学附属東広島高校(広島県)出身)

A1: 実家の近くに空港があるんです。小さい頃からよく父に連れて行ってもらっていて、自然と飛行機に興味を持つようになりました。
A2: 授業で勉強した理論や原理などを、実験で実際に目で確かめるのがとてもおもしろくて! 理解もぐんと深まるような気がします。
A3: カフェでアルバイトしています。忙しくてもドリンクを上手にすることができた時は、「やった!」と思います。
A4: 4月に研究室に配属になったばかりなので、これから楽しみです。卒業後は大学院に進学し、もっと勉強したいと考えています。



理工学部 バイオサイエンス学科 4年
丸山 照理さん(栃木県立今市高校出身)

A1: 中学生の頃は環境問題、高校生では生物学の勉強にハマっていたので、化学や生物学などを幅広く学べる学科を選びました。
A2: 卒業研究で、傷ついたイネの生理機能について調べています。まだまだ基礎的な段階ですが、自分の手を動かして研究を進めることがとにかく楽しくて、毎日充実しています。
A3: 旅行、フットサル、ジムなど、休みの日はとにかく動き回っています(笑)。
A4: まだまだ学び足りないので、大学院に進学したいです。その後はやはり、研究職に就きたいと考えています。



医療技術学部 柔道整復学科 4年
小野 結奈さん(埼玉県立伊奈学園総合高校出身)

A1: 保健体育の教師と柔道整復師の両方を目指せるところに魅力を感じ、選びました。
A2: 今は、柔道整復師の国家試験と、教員採用試験の勉強の真っ最中! 学科の友達と一緒に、朝から夜まで学校で勉強しています。
A3: 軟式野球部でマネージャーをしています。スポーツが好きで、特にサポーターする側に魅力を感じるし、学科で学んだことを活かせるのもおもしろいです。
A4: もうすぐ教育実習なので、ドキドキですが、でも楽しみな気持ちの方が大きいかな。生徒から慕われる教師になりたいです。



医療技術学部 柔道整復学科 4年
菊地 彩香さん(栃木県立さくら清修高校出身)

A1: 高校の行事で宇都宮キャンパスに見学に来て、「柔道整復師」という職業を知ったんです。もともと医療系に興味があったし、設備やカリキュラムが充実していたので、魅力を感じました。
A2: アスレチックトレーナーと柔道整復師の両方の資格取得を目指して頑張っています! 授業が休みの日は、現場実習として日光アイスバックス(※)の練習や試合のサポートをさせていただいています。
A3: 授業や実習のない日は、自然に目が覚めるまでゆっくり眠るのが幸せです(笑)。
A4: とにかくまずは、2つの資格の合格です!

※プロのアイスホッケーチーム



理工学部 機械・精密システム工学科 2年
大嶋 裕樹さん(栃木県立今市工業高校出身)

A1: 小さい頃から機械いじりが好きで、工業高校へ。自動車について特にもっと学びたくて、ATC(※)のあるこの学科を選びました。
A2: いざ勉強してみると、思った以上に難しいですが(笑)、学科の友達と車についてとことん語り合えるのは嬉しいです。
A3: 陸上部で中距離を走っています。バイクも大好きで、ツーリングに行ったり、自分で整備したりするのも楽しいです!
A4: 今はとにかく目の前のことに一生懸命取り組みます! 将来は、自動車関係はもちろんですが、消防士や警察官にも興味があります。

※オートモビル・テクノロジー・コース

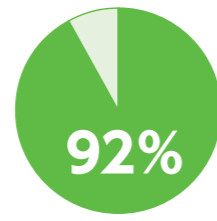


Q1: この大学・この学科を選んだ理由は?
Q2: 今、どんなことを学んでいますか?
Q3: プライベートはどんな感じ?
Q4: これからの目標を教えてください。

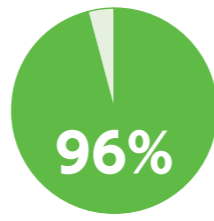
宇都宮キャンパスNEWS

平成26年度就職状況

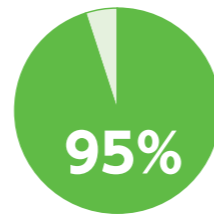
平成27年3月の卒業生の就職状況は、右記の通りです。現在、平成28年3月卒業予定の学生（現4年生）の就職活動まっただ中！キャンパスを挙げて就職活動を応援しています。その取り組みの一部をご紹介します。



理工学部
(機械・航空・バイオ・ヒューマン)



経済学部
(地域経済学科)



医療技術学部
(柔道整復学科)

「就活応援バス」を運行しました

3月8日(日)に東京都江東区の東京ビッグサイトで開催された(株)マイナビ主催の『就職EXPO(企業約900社が参加)』に、学生86名がバス2台に分乗して参加しました。宇都宮キャンパス後援会の支援事業として実施しており、参加した学生からは、「とても良い経験になった」「働くことについての考え方がとても参考になった」「無料で参加できて経済的に助かった」と好評な意見が多く聞かれました。



「学内合同企業説明会」を開催しました

3月18日(水)・19日(木)・20日(金)・23日(月)の4日間、平成28年3月修了・卒業予定の学生を対象に「学内合同企業説明会」を開催しました。1日当たり65社の企業の参加があり、連日200名を超える学生が参加しました。各企業ブースでは、メモをとりながら熱心に説明を聞く学生や積極的に質問をする学生が数多く見られました。



国家試験合格状況

平成26年度の各国家試験の結果をお伝えします。合格した卒業生の皆さん、おめでとうございます！

二級自動車整備士 合格率 **90%**

平成26年度オートモビル・テクノロジー・コースの二級自動車整備士の国家試験の結果は、20名受験して18名合格でした。

臨床工学技士 合格率 **100%**

平成26年度臨床工学技士の結果は、4名受験して4名全員合格となりました。

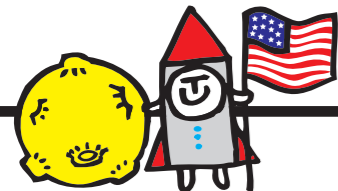
柔道整復師 合格率 **85%**

平成26年度柔道整復師の国家試験の結果は、全国平均65.7%のところ、本学の平成26年度卒業生の合格率は85.2%でした。



アメリカ航空宇宙体験ツアーを行いました

隔年で実施している「アメリカ航空宇宙体験ツアー」を、2月25日(水)～3月4日(水)に実施しました。今回は、本学の学生中心に20名と引率の教員1名が参加しました。初めての海外視察という参加者も多く、また慣れない英語でのコミュニケーションが必要となり、期待と不安を胸に旅立ちましたが、帰国後、「アメリカ航空分野のスケールの大きさに驚かされた」「行ってよかった」「もっと時間をかけて体験したかった」と満足した様子がかがえました。次回は平成29年3月に実施する予定です。



食堂・ブックセンター・コンビニがリニューアルOPEN!

この春、食堂・ブックセンター・コンビニが一気にリニューアルオープンしました。食堂はメニューを一新！自分の好きなメニューを選べる「チョイスランチ」が特に人気です。ブックセンターも売場面積が広がり、品揃えが充実しました。また、今回のリニューアルに伴い、学生食堂とコンビニエンスストアの店名を学生から公募しました。約100点以上の応募が集まり、審査の結果、学生食堂は「Soleil(ソレイユ)」、コンビニエンスストアは「Yotteco!(ヨッテコ)」に決定しました。選定は、学生から愛着を持ってもらうことや覚えやすさを重視。「Soleil(ソレイユ)」はフランス語で太陽を意味し「毎日明るく楽しく過ごせる空間」、また「Yotteco!(ヨッテコ)」は「いつでも気軽に立ち寄れる場所」というコンセプトで、名前の響きやコンセプトの良さが選定の決め手となりました。



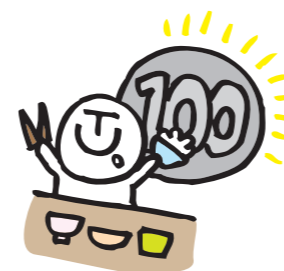
学生食堂
「Soleil(ソレイユ)」



ブックセンター
「紀伊國屋書店」



コンビニエンスストア
「Yotteco!(ヨッテコ)」



大好評「100円朝食」

学生の生活習慣の向上と健康をサポートすることを目的に、100円朝食を昨年9月より期間限定で開始。大好評を得て、4月より再開しました。メニューは和食中心で、毎日バランスの摂れた健康的な朝食を提供しています。毎朝多くの学生が利用しています。

最新のコンピュータ制御による金属加工機械を導入しました



理工学部の実習工場に、最新の同時三軸マシニングセンタを導入しました。複雑な形状の金属加工を効率よく行うことのできる機械です。加工用ツールを自動交換しながら、切削・研削・穿孔・ねじ切りなどの様々な加工を、一台で短時間に行います(専用のソフトウェアで作成するプログラムにより、このような加工が可能になります)。既に卒業研究やものづくり系サークルの部品加工などに使われており、今後、学生実験や実習などでも利用されます。本機の導入により、設計から製作までの流れが分かりやすく一貫して体験できるようになりました。

